

役員会だより

10月25日(木)15時30から組合事務所で開催。
・(有)土栄建設(土岐明代表取締役。相模原市中央区水郷田名)の11月からの入会が承認された。これにより組合員数は48社となる。
・今後の研修事業として2年目となる5S研修は他県ファブの工場見学を実施する方向で確認された。

全構協関東支部会だより

10月18日(木)午後から新潟県の月岡温泉「華鳳」において全構協関東支部会、局長会などが米森全構協会長も参加して開催された。支部会、局長会後の合同会議では全構協から鋼材ボルトの品薄について陳情活動していること、鉄骨製作関連資格取得実施体制の一元化のための鉄骨技術者教育センターの設立準備の進捗状況等が報告された。また、昨年締結した



大規模災害時における相互支援協定第6条の災害支援従事者の支援中の損害補償について関東支部として補償措置を設けることが承認され、具体的な補償の内容についてはさらに局長会で詰めていくことになった。局長会ではボルトの品薄についても意見交換がなされ、全国RJグレード部会では品薄解消の要望書を全構協に出した、韓国のメーカーから輸入する話もある、ゼネコンはストックを抱え込んでいるなどの声が上がった。新潟県鉄骨工業組合理事との交流会議の意見交換ではゼネコンの出来高払いについては強く要求する、オリンピック後の景況は20年後の見積りも出ているので心配はしていないとの事だった。懇親会は地元歌手の篠笛と歌によるアトラクションもあり、和やかなひと時を過ごした。

平成30年度関東支部共済会議からの報告

10月26日アルカディア市ヶ谷で共済業者を交え総勢30名にて関東支部共済推進会議が開催されました。当組合賛助会員のアマダマシンツール・大同生命・大日本塗料・ダイニッカも参加。全構協の推奨する生命共済・指定塗料・鋸刃幹旋・オートリースの問題・改善点について話が進められ、当組合の辻総務委員長から「前年度購入実績等に対して特別割引制度を考慮できないか？」の質問に対して「前年度購入缶数の評価という基準は難しいが、物件対応と言うことで年間受注缶数を値引の対象にして納品は分割して工場にいれますので、ぜひ交渉してもらいたい。」と大日本塗料から回答があり、全構協から提示された指定塗料はあくまでMAX価格であるとのこと。また「特化則(特定化学物質障害予防規則)」の話がありました。大同生命は現在の共済制度がシンプルな内容のため掛金が安く、災害時のみならず病気死亡も保障のある点を強調されました。アマダの鋸刃は、昨年度指摘された営業未訪問への強化を図っているとのことでした。



【小宮】

青年部の横顔

No. 11



三葉鉄工(株) 専務取締役 山口 和伸
川崎市幸区南加瀬3-4-1
TEL 044-599-0923
FAX 044-588-2863
E-mail santetsu@ec3.technowave.ne.jp

小学生のころから小遣い欲しさに父の手伝いをしていたのですが、平成15年より正式に入社し、工場製作、現場工事そして組合入会、グレード取得後は工場・現場・施工図・書類関係、組合活動への参加など忙しくしております。青年部は来年卒業ですが、勉強会後の懇親会などには積極的に参加させていただき、「今 何をやる・してはいけない、どうすれば良いか、しているのか？」等、熱い話を年齢の違う仲間と討論、情報交換できる場所として有意義な時間を過ごさせていただいております。

私について、紹介させていただきます。
趣味：のめり込むほどではありませんが、お酒、カラオケ、釣り、麻雀、映画鑑賞、旅行など
家族：母、弟、義弟と同じ職場で働いています。
抱負：長兄、会社の役員としても従業員、兄弟に頼られ、解決してあげられる男になりたいと思っています。



篠笛と歌によるアトラクションもあり、和やかなひと時を過ごした。